

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	港湾空港課 奥村 恭	電話番号	0852-22-5228
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	空港機能保持事業		
目的	(1) 対象	空港利用者	
	(2) 意図	施設や設備が適切に更新・改良されることにより、空港施設の機能が良好に保持されている状態。	
事業概要	空港基本施設の更新、灯火電源設備の更新、灯火ケーブル等の更新、空港保安施設の改良などを行い、民間に供用する空港機能を保持する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	空港施設の供用率	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	%
			取組目標値					
	式・定義	(空港供用日数-空港設備の不備による空港非供用日数) / 空港供用日数	実績値	100.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	317,626	453,306
うち一般財源 (千円)	67,186	245,656

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

空港設備の不備による空港を供用しない日は発生していない。
滑走路等の基本施設、航空灯火関係施設や保安施設は経年による老朽化が進んでいる。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

出雲空港の老朽化したエプロンを改良し、機能の回復が進んでいる。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
老朽化が進む空港施設・設備等の更新・改良に多額の事業費が必要
- ②困っている状況が発生している「原因」
滑走路等施設の更新・改良は、調査から事業完了まで数年の期間と多額の事業費を要する上に、施設・設備の更新・改良が同時期に重なっている。
- ③原因を解消するための「課題」
計画的に更新・改良を行う。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

基本施設及び灯火電源施設については調査を行い、老朽化の状況を把握した上で更新・改良を計画し、補助事業化に向けた基本設計等を行う。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)